

Ai愛労連

愛知県労働組合総連合

名古屋市熱田区沢下町9-7
労働会館東館3F
TEL 052-871-5433
FAX 052-871-5618
URL http://www.aioren.gr.jp

283 2017年2月号
発行人 知崎 広二

第32回トヨタシンポジウム

■とき 2月4日(土)
■ところ 刈谷市産業振興センター
13:30~16:30 シンポジウム
※10:00~11:00 大企業宣伝
(名古屋駅ミッドランド前・西口)

ディーセントワーク(働きがいのある人間らしい仕事)の実現へ 安倍「はたらき方改革」を实效あるものに

安倍政権がすすめる「はたらき方改革」。昨年12月20日には初めて「同一労働同一賃金」実現のための指針案を示すなど、意欲的な動きを見せています。「はたらき方改革」をめぐる背景や動きについて労働法制愛知連絡会の樽井直樹弁護士(東海労働弁護団幹事)に知崎事務局長が話を聞きました。

労働条件が良くならなければ「はたらき方改革」は失敗

■「はたらき方改革」、どんな流れの中で出されてきたのでしょうか。
そもそも、この改革に至る前、安倍政権は「アベノミクス」の最初の三本の矢「金融緩和」「財政出動」「成長戦略」の1つである「成長戦略の一貫として」「雇用制度改革」を打ち出しています。この「雇用制度改革」は、財界の要請に全面的にこたえて労働時間の柔軟化、解雇の金銭解決、人材ビジネス、派遣法の改正……こうしたものを柱にしています。実際、労働者派遣法は2015年9月に改悪され、解雇の金銭解決は厚労省の検討会で議論されるなど現在も着実にすすまれています。



東海労働弁護団
樽井直樹弁護士

年6月、「ニッポン一億総活躍プラン」(男性・女性・お年寄り・若者・障がい者など、誰もが家庭や職場、地域で活躍できる全員参加型の社会)の実現に向けて出されました。

この「一億総活躍プラン」は、アベノミクス三本の矢の経済政策を一層強化するものとしていますが、実態はどうでしょうか。

政府は景気の好循環とつながりますが、労働者の賃金が上がらなければ、アベノミクスは成功しないという危機感を持っています。だから首相自らベースアップや最低賃金の引き上げなどを積極的に言い、労働者の期待にもある程度、応えようとしています。労働条件が良くなければ、アベノミクスは失敗と言われ

ることがわかっていいるからです。
■「はたらき方改革」の中では「長時間労働の是正」、「同一労働同一賃金」の実現と聞こえのいいスローガンが並びますが……
電通の過労自殺事件はインパクトを与えました。人生これからという若い労働

者がヒドイ働かされ方をしています。聞こえの良いスローガンを並べるだけでなく、なぜ日本は長時間労働が蔓延して改善しないのか、男女や正規と非正規の間などで賃金格差がうまれているのか、本質の真剣な議論がなければ解決にはつなげられません。

働き方の質と社会保障 労働組合に大きな期待

■職場が不夜城と呼ばれ、サービス残業が横行しています。
賃金と労働条件を一体のものとして捉える必要があります。残業代が出ることを前提に生活を考えるのではなく、仕事に対する考え方を原則通りに確立しなければいけないと思います。
■65歳になっても働くのが当たり前の社会になってきていますね。
日本は高齢者の貧困率が国際比較でも高く、年金・社会保障が弱い低賃金でも働き続けなければなりません。「はたらき方改革」のスローガンは悪いものは掲げていないので、実態はどうなのか、法改正につながる部分は徹底した審議をさせる必要があります。政府は労働者の「働き

方」「働かされ方」に問題があることを認識せざるを得ない状況にあります。自分たちの生活をどう向上させるか、賃金・労働条件を始めた働き方と質、そして社会保障も労働組合が取り上げていくことが必要だと思っています。
■今回の「同一労働同一賃金」の指針案はどう見ますか？
非正規との待遇差をつけてはダメとしている点など、「同一労働同一賃金」の考え方を示したということは大変なことだと思っています。では実際に差異が生じた時にどうか。許されないものと判断する場

合について、具体的な判断のあり方はまだはっきりしない部分があります。明確な判断ができるものにさせる必要があると思います。
1月と3月に労働法制愛知連絡会で集会をおこな

「はたらき方改革」のまやかしを診る①

一労働現場からの告発一

日時：1月27日(金)18:30~20:30
場所：ウイंकあいち1003会議室
内容：「アベはたらき方改革」の真相について現場からの告発
教員/トラック運転手など
参加費：無料
主催：労働法制改悪反対実行委員会

「はたらき方改革」のまやかしを診る②

一労働現場からの告発一
日時：3月23日(木)18:30~20:30
場所：ウイंकあいち(予定)

欺瞞的で矛盾している 安倍内閣の労働政策

■個人請負が広がり、労働者として扱ってもらえないケースやそうした労働相談も増えています。
テレワークのような新しい形態が広がることには注意が必要で、「労働」は放っておいたら搾取されま

ます。労働現場の実態から「はたらき方改革を診る」というものです。労働組合の潮流を越え、いろんな職場・現場から実態を告発していきます。
政府は派遣法を改悪して非正規を増やすようなことをしながら、一方で「同一労働同一賃金」で差別をなくすとか、時間短縮が必要と言いつつ労働基準法の改悪を狙っています。欺瞞的で矛盾した形をもつのが今の安倍内閣の労働政策です。「はたらき方改革」は真に労働者の問題を解決するものなのかどうか。実態を出し合い、共感を持って社会全体の認識につなげる集会にしたいと思っています。



正月の夢の中で啓示を受けた。今年のキーワードは、あらためて「つなぐ」である。毎年この時期のテレビ番組で唯一楽しみにしている恒例の箱根駅伝で、一年間の苦しい練習成果と選手からもらった部員たちや家族の願いを胸に、学生たちがひたむきにタスキをつないでいく姿に感銘を受けてのものである。つなぐ、は、結びつけてひと続きのものにすること、離れているものを続け合わせる。これこそ私たちがめざす労働組合運動の方向を示しているものなのではないか。様々な妨害や策動を乗り越え、まともな労働組合運動をめざして全労連、愛労連を結成して28年、やがて30周年を迎える。ときの政府・財界などから「5年持つかどうか、10年は持たない」などと揶揄されたものの、日本の労働組合運動の本流として、広範な労働者の「よりどころ」として、国民生活擁護の担い手として成長し、立派につないできた。このことに確信を持ち、吹き荒れる安倍暴走政治と正面から対決し、「つなぐ」を合言葉に、30周年は勿論のこと、40周年、50周年と展望できる労働運動の構築、飛躍をめざそう。(一)

憲法を守ることは歴史的課題

17新春大学習会で165人が学ぶ



話をする小林武教授

1月7日(土)、愛労連と愛知春闘共闘委員会が主催する17新春大学習会が開催され、165人が参加しました。前半には、名城大学経済学部助教授の小林武さんが「憲法と現代日本の労働・生活と抵抗運動の現状」と題して講演しました。

小林さんは2011年4月に愛知から沖縄に移住しています。自身が18歳の時、沖縄の宮森小学校に米軍ジェット機が墜落し、犠牲者を多く出しながら日本政府が何もできなかった状況を見て以降、「いつか沖縄に」と思っていたことを冒頭に語りました。

小林さんは、憲法から見る日本・沖縄について、①「日米同盟」を必要悪として日本の土台としている安保体制、②大企業のみが栄える政治、③立憲主義の否定をあげ、特に議会制民主主義・議院内閣制の破壊の問題を強調しました。

小林さんは最後に、憲法を守ることで近代の歴史的課題であり、労働運動の持つ役割を重視したいと参加者にエールを送りました。

では、憲法が適用されなかった沖縄返還前から現在にいたるまで、国民のくらしと安全が安保条約・地位協定によって押しつぶされてきた状況を伝えました。

自民党憲法草案は改正案ではなく「新憲法案」

憲法問題については、自民党「日本国憲法改正草案」をとりえ、「自民党案9条では軍法会議や徴兵制の橋渡しが読めること、新たに導入予定の緊急事態条項では、国会や地方自治を骨抜きにし、基本的人権さえも脅かすものである」と発言。草案は「憲法の基本原則をかえるものであって改正案ではなく新憲法案」と話しました。

小林さんは最後に、憲法を守ることで近代の歴史的課題であり、労働運動の持つ役割を重視したいと参加者にエールを送りました。

近藤道子・生協労連

1面カラー、検教労連の仲間たちの顔がみんなカッコイイ！「社会悪の監視」も正義の味方でカッコイイ！(市川浩・全労働)

みんなの声

■就職内定率100%です。人手不足、若者不足なのでしょか。生徒らが安心して働ける労働環境が実現されるようがんばりましょう。(岡田治久・愛高教)

■名古屋市のゴミ収集車の車をみると委託化が多くなつたなと感じていました。記事を読んで、委託化が進むと災害になったら現場の状況を把握し、指示や応援することが困難だということがわかりました。市民税を払っている私としても、非常時に対応してくれる正規の職員さんを増やして欲しいと切に願っています。(近藤道子・生協労連)

■あつという間に過ぎた2016年。2017年は充実した年になりたいと思います。(今村浩一・愛高教)

■2年前に子育てを理由に転職したにもかかわらず、業務多忙で子どもにつらい思いをさせている」と悩んでいます。：職場の先輩から、政府はワーク・ライフ・バランスを進めていると言っているのに、今の職場はどうなっているの？とお叱りを受けた。以前に同じ職場で働いていた先輩から、冒頭の相談を受けたそうです。新しい職場で相談のつてもらった上司には、「がんばって」としか言

われず、落胆しているそうです。労組役員としてもっともつとがんばらないと。新しい年に決意を新たに。(青山浩・国交労組)

■地域労組きずな 執行委員長 小野真雅/副執行委員長 伊藤信広/同 加藤健二/同 上村和範/書記長 後藤陽司

■電機・情報ユニオン 支部委員長 成木彦朗/支部副委員長 岡戸和夫/支部書記長 藤崎俊子

■JMITU通信労組 執行委員長 大村美恵/書記長(未定)

新年目標

■尾東労連

◇1月号のバズル当選者

青山浩 (国交労組)

天野 栄 (名古屋市職労)

伊藤 己恵 (建交労)

岡田 治久 (愛高教)

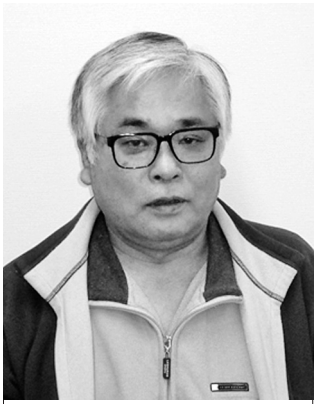
窪田 由紀子 (愛高教)

※ハガキに答え、住所、氏名、組合名と近況が紙面に対する感想・意見などを記入の上、2月5日までに愛労連クイズ係 〒456-0006 名古屋市中熱田区沢下町9-7 労働会館東館3F 愛労連宛 まで応募下さい。いただいた中から近況や感想、氏名、組合名を紙面で紹介させていただきます。

おまほす

NO.114 あつた労連

組合員の目に見える運動で参加を促す



西川直利さん あつた労連 (自治労連)

あつた労連を結成した当時から熱田区で活動している西川直利さんにお話を伺いました。

近年、あつた労連では「すみよい熱田の会」など、区内の民主的団体との共同の活動が増え、自治体キヤラバンや平和行進にも地域でとくくんでいきます。年に2回の地域総行動は、駅頭6カ所朝ビラ配布、夜には交流集会をおこない各職場の

状況を理解し合って意思統一をしています。昼間に区内の中小企業に署名のお願いに回ったこともあり、総行動前に

は打ち合わせを重ね、入念に準備しています。

職員の要望を市当局に申し入れ

西川さんは現在、金山市税務所に勤めています。新築家屋の固定資産税賦課事務をおこなっています。人減らしの影響で人手が足りず忙しい毎日です。

コンピュータによる電算化のための人員削減は、おかしいと以前から主張している西川さん。「電算化することで様々な問題がみえてくることあります。行政の責任

としては看過できないため、結果として仕事が増えることになり」と話します。市税事務所の職員などをつくる税務協会の議長も務めており、人員増や職場環境の改善など、職員の要望を市当局に申し入れて労働環境の改善にもとくくんでいきます。

定年が近づき、次世代へのバトンタッチの必要性を強く感じており、「若い人に組合活動を知ってもらうため、声かけや目に見える運動に力を入れて参加を促していきたい」と話しています。(K)

労働相談の窓

深夜・長時間労働を考える③

「奴隷の方が、人間らしい家庭生活をしていた」こんな話を聞いたことがあります。電気という灯りが無い時代、夜は「つつましい料理ながらも家族で揃って食事を取り団らんがあった」。人類は石炭、石油を活用し、産業革命で生産物が飛躍的に増え、生活の改善に結びつきました。併せて『電気』という光・動力源を手に入れたことで、夜間の

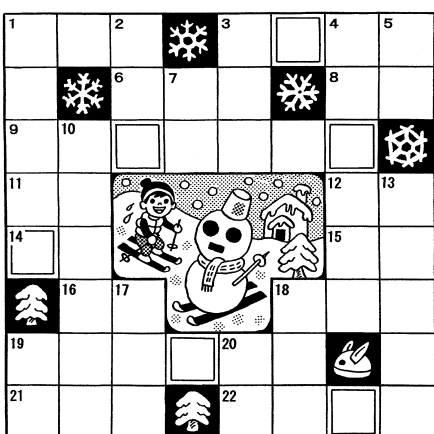
生活・労働が可能となりました。「何故夜中に自動車を生産する必要のあるのか」。企業は設備投資した『生産設備』を利潤のため、24時間稼働させることを選択しました。「遊ばせておくのはもったいない」の発想です。日本の政治は企業寄りの法整備を進め、企業は労働組合の弱体化を図り、労働者の健康を顧みず、利益中心の深夜・長時間労働を導入しました。家庭・生活サイクルを一変させ、すべての時間が企業中心の社会となりました。これ以上の『労働法制の改悪』を許さず、まともな労働組合を増やし、長時間・深夜労働をなくしましょう。2017年を『せめて奴隷より上の家族団らん的生活』=憲法25条・健康で文化的な生活=を取り戻す出発の年にしましょう。(寅さん)

クロスワードパズル

【解き方】イラストをヒントにして、二重枠の6文字をうまく並べてできる言葉は？

- ヨコのカギ
- かわいらしさの象徴
 - 調子が上向きなこと。…に乗って大勝利
 - …市で盆栽を買いました
 - 人生七十…まれなり
 - 通信会社のCMで桐谷健太さんが演じています
 - 個別指導は…ツ…
 - 故司馬遼太郎さんの長編歴史小説「…の上の雲」
 - 桃太郎の家来です
 - 民話「さるかに合戦」で猿にやけどを負わせたのは？
 - 故高倉健さんの映画「…STATION」
 - 日光の名所。…の滝
 - 学校の教育課程です
 - 寒い朝に最高。…スープ
 - にがわらい

- タテのカギ
- ①節分、方角、食べ物
 - ②シャッポと言う人も
 - ③きりたんぽと言えは？
 - ④失敗を重ねながらも徐々に成功へと近づきます
 - ⑤岸から遠く離れています
 - ⑦合格を願って書きます
 - ⑧女性の肌膚のこと
 - ⑩小麦粉を揚げた甘い和菓子
 - ⑪MF。国際通貨…
 - ⑫故赤塚不二夫さんの漫画に登場。名前はケムバス
 - ⑬水夫。すいふ以外の読み方
 - ⑭…、…、…、…、…



【前号のクイズの答え】前号282号(1月号)のクロスワードパズルの答えは「ボウネンカイ(忘年会)」でした。正解者の中から抽選で右記の10名の方に図書カードをお送りします。